

徳島大学大学院薬学研究科博士課程 Ph.D.-Pharmacist プログラム
～こころざし(KOKOROZASHI)プログラム～



大学院薬学研究科・薬学部
Ph.D.-Pharmacistプログラム
～こころざし(KOKOROZASHI)プログラム～



学部4年次終了後に大学院薬学研究科博士課程(4年制)に進学して研究力を身につけ、博士(薬学)の学位を取得後、学部5年次に戻り薬剤師免許の取得を目指す特別選抜プログラムです。早期段階で研究能力を洗練させ、博士号取得後に、実務実習・国家試験を経て薬剤師資格の取得が可能です。大学や公的研究機関、製薬企業等における研究者や病院薬剤部等での臨床研究者として、学部卒業と同時に第一線で活躍し、次代のリーダーとして薬学研究を牽引できる卓越した人材の育成を目指します。

本プログラムは、本学の理念である「インタラクティブYAKUGAKUJIN」と、徳島大学薬学部開学の祖であり日本の薬学の父と言われる長井長義博士が、若き日に“こころざし”を抱いて徳島の地から世界に羽ばたいた史実をもとに「こころざし(KOKOROZASHI)プログラム」と名付けました。

Ph.D.-Pharmacist プログラム (こころざしプログラム) とは、薬学部薬学科(6年制)の創製薬科学研究者育成コースと大学院博士課程(4年制) をシームレスにつないだ学部・大学院一貫研究教育により、学部と大学院の境を飛び越えて創薬研究者を早期に育成する大学院特別コースです。大学院特別選抜入試を経て、薬学部薬学科の創製薬科学研究者育成コース4年次終了後、博士課程に入学します。大学院では、薬科学研究に集中的に取り組み、英文原著論文を発表して博士(薬学)の学位を取得します。その後、再び学部5年次に戻り、実務実習を経て薬学部を卒業し、国家試験を受験して薬剤師資格を取得します。

本コースの最大の特徴は、学部3年次の研究室配属から大学院博士課程修了による学位取得までをシームレスにつなぎ、研究活動の中断なく、自らの研究に没頭できることです。薬学部が設ける教育研究助成奨学金の優先的受給や海外での教育・研究活動支援など、研究専念のために経済的支援策を講じます。早期段階で研究能力を洗練させ、博士号取得後に、実務実習・国家試験を経て薬剤師資格の取得が可能で、学部卒業と同時に、アカデミア、製薬企業等での基礎研究者そして病院薬剤部等での臨床研究者として第一線で活躍し、次代のリーダーとして薬科学研究を牽引できる卓越した人材の育成を目指します。

徳島大学大学院薬学研究科（博士課程）学生募集要項（抜粋）

Ph. D. -Pharmacist プログラム～こころざし(KOKOROZASHI)プログラム～特別選抜

本プログラムでは、薬科学に対する卓越した研究能力と豊かな学識を備えた研究者を育成します。また、生命倫理を尊重し、先導的かつ次代を見据えた挑戦的研究の推進を基盤に薬学の進歩と医療の向上に寄与することを目的としています。

このような目的に基づき、つぎのような学生を求めています。

- 1 創薬科学や医療薬科学に対する興味と情熱にあふれ、研究に意欲的に取り組むことができる人
- 2 探究心を持ち、最先端薬科学や医療薬科学の開拓に意欲を有する人
- 3 薬科学研究や医療を通じて国際貢献することに意欲を有する人
- 4 自己研鑽にとどまらず、知識の伝承を通じて後継人材の育成に意欲を有する人

I 募集人員 若干名

II 出願資格

- ・徳島大学薬学部薬学科創製薬科学研究者育成コース4年次に在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得し、5年次への進級要件を満たす見込みがあると本研究科が認めた者
- ・著書、学術論文、学術講演、学術報告及び特許等において優れた研究業績を有し、本研究科において優れた研究能力を認めた者

III 入学者選抜方法（特別選抜）

入学希望願、推薦書、学部1年次～4年次前期までの学業成績、研究業績及び面接試験によって、総合的に判定する。

※令和8年度博士課程募集の一環として行う。

IV 修業年限 4年

V その他

- ・日本学術振興会特別研究員、各種フェローシップ、民間財団による助成金・奨学金への申請書作成等をサポートする。
- ・海外での教育・研究活動支援を優先的に行う。
- ・2種類の徳島大学薬学部教育研究助成奨学金制度がある。
- ・特に優れた研究業績をあげ、将来が期待されるものを表彰する。
- ・大学院在籍中は、薬学部は休学扱いとなる。なお、休学の年限等は、徳島大学学則第23条及び第24条に基づく。（休学期間は、引き続き4年を超えることができない。ただし、特別な理由がある者には、更に引き続き1年以内の休学を許可することがある。）